

公益財団法人ロッテ財団 2019 年度奨学生の募集について

2018. 11. 2

1 応募資格…以下のすべてに該当する者

- 1) アジア諸国から来日している私費留学生 *西アジア(パキスタン以西)、中近東、NIS 諸国を含まない。
- 2) 2019 年 4 月 1 日現在で工学部又は工学研究科正規課程に在籍する、35 歳以下の者で、2 年間奨学金を受給できる者
- 3) 入学予定者については、申請時点(遅くとも1月中)で合格が確定している者のみ申請可
- 4) 成績評価係数が 2.4 以上(大学院生は 2.6 以上)の者
- 5) 日本語能力が十分な者。(N1程度、未取得でも可) *日本語で自分の研究内容・将来の目標等を説明できる程度
- 6) 他の奨学金を受給していない者
- 7) 在日している扶養者がいる場合、その年収が 500 万円未満である者
- 8) 12月中旬(10~14 日予定)の留学生課面接、および2019年2月20日(木)の財団面接に必ず出席できる者
- 9) 奨学生交流会(年 4 回を予定)に必ず出席できる者

2 援助の金額、援助の期間

月額: 18万円

期間: 原則として 2 年間。但し、各課程の最上級年次の奨学生は、上級の課程に進学することが条件となる。

3 推薦人数 無制限(国籍の重複不可) *財団での採用予定数 若干名

4 提出書類

- 1) 奨学金申請書(所定用紙)
*担当部課等の欄は空欄のまま提出すること
 - 2) 履歴書(所定用紙)
*現在までの学歴に空白期間がないよう記入すること
 - 3) 本人申告書及び本人申告書の別添記入用紙(所定用紙)
*「(2)経済状況」欄の 2018 年度授業料については、後期分は免除されないものとして金額を記入し、免除申請中の場合は右のスペースに「後期分免除申請中」と追記すること。
*「(3)連絡先」欄は留学生の友人等ではなく、確実に日本で連絡の取れる連絡先を記入すること(指導教員等)
 - 4) 在学証明書【又は合格通知書(写)】
*応募書類の提出時点で合否未定の者は応募不可
 - 5) 在留カードの写し(両面)
 - 6) 成績証明書(学士課程以降、直近のものまで) *直近のもの以外は写し可
*別紙参照のうえ算出した成績評価係数を余白に鉛筆書きで記入すること
 - 7) 指導教員(アドバイザー)による推薦状(A4 1 枚、様式任意) *PC 作成可、日本語で作成
 - 8) 私費外国人留学生身上書(所定用紙)
 - 9) 家計状況申告書(所定用紙)
 - 10) 指導教員による成績評価(私費外国人留学生各種奨学金申請用)(所定用紙)(厳封)
 - 11) 日本語能力試験に合格している者は「認定書」および「合格結果通知書」の写し(得点の表記のあるもの)
 - 12) 配偶者がいる場合、配偶者の収入証明書(源泉徴収票等)の写し
- *1)~3)は、日本語で直筆。
*8)~10)は、2018 年 10 月以降に、他の奨学金応募で既に提出したことがある場合は不要。

5 申請書類の提出先 工学部・工学研究科教務課国際交流係(中央棟3F)

6 締切日 平成 30 年 11 月 19 日(月)

2019年度に他奨学金について受給が決定している者ならびに申請中(直接応募含む)の者については選考対象外とします。

2019年度 奨学金申請書

公益財団法人ロッテ財団
理事長 大沼 淳 殿

貴財団の奨学金の支給を受けたく申請致します。

申請年月日 西暦 年 月 日
フリガナ

申請者署名 _____

写真 (カラー)

(5×4cm)
上半身の写真

裏面に氏名を書いて
のりではりつけること

氏 名 (アルファベットで記入) フリガナ							
氏 名 (漢字名又はカタカナ)							
国 籍		在留資格		性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		
生 年 月 日	西暦 年 月 日生	年 齢	2019年 歳 4月1日現在	結 婚	<input type="checkbox"/> 既婚 <input type="checkbox"/> 未婚		
現 住 所		(〒 -)	最寄り駅	線	駅		
		電話 ()	携帯電話 ()				
		E-mail: (パソコン)					
		E-mail: (携帯)					
在学大学名等 (四月一日現在)	大 学	大学	学部	学科	()年次		
	大 学 院	大学院		研究科 専攻			
		修士課程 (博士前期課程)			()年次		
		博士課程 (博士後期課程)			()年次		
	入 学 時 期	西暦 年	4月入学	・	10月入学		
申請者の大学に おける担当部課等	担当部課名 (フリガナ) 氏 名 E-mail:	電話 ()					
指 導 教 員 等	職 名 (フリガナ) 氏 名	電話 ()					

履 歴 書

(フリガナ)
氏 名：

西暦 年 月 日現在

来日時期： 年 月 日

学 歴・職 歴 等

在学・勤務期間	学校名・勤務先・所在地	正規年数		専攻分野・職務内容（役職名）
年 月から	高等学校	年	卒業 ・ 中退	
年 月まで				
年 月から		年		
年 月まで				
年 月から		年		
年 月まで				
年 月から		年		
年 月まで				
年 月から		年		
年 月まで				
年 月から		年		
年 月まで				
年 月から		年		
年 月まで				
年 月から		年		
年 月まで				
年 月から		年		
年 月まで				
年 月から		年		
年 月まで				
日本語能力試験	取得せず ・ N1 ・ N2 ・ N3 （取得年月日 年 月）			
日本語学習履歴	独学 ・ 日本語学校 ・ 中学校 ・ 高校 ・ 大学 ・ その他			
賞 罰				

(注) 留学準備期間・兵役期間なども含めて、高等学校入学から現在に至るまでの
学歴・職歴等について時間の切れ目なく時系列に記載してください。

なお、所在地は国名・都市名を記入のこと。（例：中国・大連市、韓国・釜山市）

公益財団法人ロッテ財団

本人申告書

西暦 年 月 日現在

(フリガナ)

氏 名

あなたの本国（実家）の住所(アルファベットで)

あなたの本国（実家）の住所(漢字表記がある場合には漢字も併せて記述して下さい)

あなたの本国（実家）の電話番号

(1) 家族状況（両親、配偶者、子供、兄弟姉妹）

家族氏名	続柄	年齢	現住所	職業・勤務先 (勤務内容詳細)・在籍学校
	父			勤務先： 職種・職位：
	母			勤務先： 職種・職位：

(2) 経済状況

平均収入月額合計 (①～⑤の合計)		円	摘 要	
内 訳	①本国等からの仕送り額	円	仕送り者名	
	②アルバイトの収入	円	職務内容	
	③その他の収入	円	内 容	
	④奨学金 (現在受給している内容)	円	奨学金の名称 () 受給期間 年 月～ 年 月	
	⑤単発の奨学金	総額 円 (月額 円)	奨学金の名称 () 受給時期 年 月	
	現時点で他財団に応募している時はその財団名を記入「 」			
住居費月額 (食費含まず・自己負担分)	円	住居区分(寮・下宿・アパート・借家・持ち家・その他)		
2018年度授業料年間支払額	(イ) 円	免除の有無(全額免除、一部免除、免除なし)		
免除額(減免額)	(ロ) 円	(イ)-(ロ)が実際に支払った授業料年間支払額		

(3) 連絡先（自分の国へ一時帰国している時、長い間旅行している時などの日本での連絡先）

フリガナ 氏名	申請者との関係 ()		
現住所	(〒)	電話()	-

日本留学の目的・将来希望する進路（又は留学後の予定）は、別紙の用紙に記入してください。

公益財団法人ロッテ財団 2019 年度奨学生募集要項

1. 趣 旨

公益財団法人ロッテ財団（以下本財団という）は、日本の大学または大学院等で学ぶ主としてアジア諸国からの留学生のうち志操堅実・学力優秀でありながら、経済的理由により学業の継続が困難な者に対して支援を行い、もって、諸国間の友好親善、国際交流及び人材の育成に寄与することを目的とします。

2. 特 徴

本財団の奨学金の特徴は次のとおりです。

- (1) 奨学金は支給とし、返済の義務はありません。
- (2) 奨学生の卒業後の就職、その他一切については、本人の自由とします。

3. 奨学生の応募資格

- (1) 日本以外の国籍を有し、主としてアジア諸国から来日している私費留学生
- (2) 大学の学部又は大学院の正規課程に在学する者
- (3) 2019年4月1日現在で35歳以下の者
- (4) 在留資格「留学」を有する者
- (5) 修学のために経済的援助を必要とする者で、2019年度に他の奨学金及び多額の収入を得る予定のない者（他の奨学金との併給は認めない）
- (6) 配偶者がいる場合、配偶者の年収が500万円未満であること
- (7) 学業、人物ともに優秀である者
- (8) 日本語による意思伝達が可能である者（日本語能力試験N1取得程度）
- (9) 国際理解と国際間の友好親善に積極的に協力する者
- (10) 本財団の奨学生交流会（年4回程度を予定のうち1回は1泊2日の研修旅行）に出席できる者
- (11) 本人の状況確認の為、年数回の本財団事務局との面談に応じることのできる者

4. 採用人員 若干名

5. 奨学金の額と支給の方法

(1) 支給金額

一人当たり年額216万円（月額18万円）

(2) 支給の期間

原則として、2年間とします。ただし、応募の時点で各課程の最終学年に在籍する者は、上級の課程（学部から大学院又は、博士前期（修士）課程から博士後期課程）に進学することが条件となります。

(3) 支給の方法

奨学金は原則として、毎月28日（当日が銀行の休日となる場合は前営業日）に本人名義の銀行等の預金口座に入金します。なお、第1回目の支給は、2019年4月26日に入金します。

(4) 支給期間の延長

支給期間の最終年度に1回限り、1年間を限度として支給延長申請を提出できるものとします。（選考委員による面接等の審査を経て合否が決定されます）

6. 奨学金の支給停止又は打ち切り

奨学生がロッテ財団奨学生としての義務を履行しなかったとき、又は奨学金を本来の目的に使用しなかったとき等の他、下記事項等に該当する場合、原則として、その事由の発生した月の翌月から奨学金の支給を停止又は打ち切ることがあります。

(1) 奨学金の支給停止

- ① 理由なく長期（1ヶ月以上）にわたり、連絡がとれなかったとき
- ② 在籍する大学の学則で定められた長期休業期間以外に、あらかじめ届け出て1ヶ月以上日本を離れるとき。この場合は離日の翌月から奨学金の支給を停止する。帰国後本人からの申請があれば支給を再開する。
- ③ 1ヶ月以上の病欠、理由のない長期欠席等により学業に支障がでるとき
- ④ 本財団奨学生としての義務（交流会への出席、各種届出・報告事項の提出等）を果たさなかったとき
- ⑤ その他、財団で奨学金の支給停止について相当と判断したとき

(2) 奨学金の打ち切り

- ① 国内の募集対象校以外へ転学したとき
- ② 学業成績又は素行が甚だ不良のとき
- ③ 留年したとき、又は、卒業あるいは修了延期の恐れが生じたとき
- ④ 留学生としての資格を失ったとき
- ⑤ 学則により処分を受けたとき（軽微なものを除く）
- ⑥ 学籍を失ったとき
- ⑦ 応募書類の記載事項に重大な虚偽が発見されたとき
- ⑧ 奨学金の一部又は全部を本来の奨学金の用途以外に使用したとき
- ⑨ 配偶者がいる場合、その年収が500万円以上となったとき
- ⑩ 奨学金を必要としない理由が生じたとき
- ⑪ 本財団の目的に反する言動をおこなったとき
- ⑫ 本財団若しくは本財団の支援企業の名誉を傷つけ又は著しく迷惑をかけたとき
- ⑬ その他、支給停止の事由が度重なる場合等、財団で奨学金の打ち切りについて相当と判断したとき

7. 募集方法

本財団が募集対象校とする大学等を通じて募集します。

8. 応募の手続

次の書類を揃え、在学する大学において指定する日までに、大学の留学生事務担当窓口へ提出してください。

- (1) 奨学金申請書（所定の様式）
- (2) 履歴書（所定の様式）
- (3) 本人申告書及び本人申告書の別添記入用紙（所定の様式）、その他合格を証明する書類
- (4) 在学証明書 修士課程または博士課程に進学する者は合格を証明する文書（大学の発行する合格通知書またはそのコピー）
- (5) 外国人登録書（在留カード）の写し
- (6) 成績証明書：現課程のもの。入手不可能の場合は、前の課程のもの又は入学試験の成績・順位等
- (7) 推薦状：学部長又は指導教員等によるもので、封筒等に封印したもの。用紙は、A4サイズで1頁
- (8) 日本語能力試験に合格している者は「認定書」および「合否結果通知書」の写し（得点の表記のあるもの）
なお、合格年月日の新旧に関わらず提出して下さい。
- (9) 配偶者がいる場合には、配偶者の収入を証明する文書（公的文書等）の写し

※上記（1）から（3）の書類は、必ず本人の自筆にて記入すること。

9. 選考及び決定

- (1) 推薦された者のうち書類審査を通過した者について、本財団に設置する奨学生選考委員会の選考面接を経て、理事長が奨学生を決定します。

（注）面接は 2019年2月20日 に東京都内で実施（時間・場所等は後日、本人宛にメールにて連絡）致しますので申請者は必ず面接を受けて下さい。

- (2) 採用決定者については、2019年3月上旬までに大学に通知します。

《問合せ・申請書類送付先》

公益財団法人ロッテ財団 事務局 奨学事業担当
〒163-1414 東京都新宿区西新宿 3-20-2
Tel:03-5388-5564 Fax:03-6276-5652

以上

履 歴 書

(フリガナ) ペ ヨンジュン
氏 名: 裴 勇浚

西暦 2018年 11月10日現在

来日時期: 2002 年 4 月 1 日

記入例
直筆で記入

学 歴 ・ 職 歴 等

在学・勤務期間	学校名・勤務先・所在地	正規年数		専攻分野・職務内容（役職名）
1994 年 4月から	韓国・大田高等学校	3年	卒業	理系 化学専攻
1997 年 3月まで			中退	
1997 年 4月から	韓国・兵役	2年 6ヶ月		主として釜山で研究所勤務
1999 年 10月まで				
1999 年 11月から	韓国・ソウル市 ・リコーカンパニー	5ヶ月		国際営業部社員 アジア担当
2000 年 3月まで				
2000 年 4月から	自宅	2年		留学準備の為 日本語塾へ通塾
2002 年 3月まで				
2002 年 4月から	日本・東京 エール日本語学校	1年		日本語
2003 年 3月まで				
2003 年 4月から	東京大学	4年	卒業	農学部 応用生物化学科
2008 年 3月まで				
2005 年 9月から	シンガポール国立大学	上記 のうち1年		東京大学交換留学プログラムにて 農学部選抜生として留学
2006 年 8月まで				
2008 年 4月から	日本・大阪 西日本鉄道株式会社	6年		海外事業推進部海外チームおよび 国際グローバルチーム 社員
2014 年 3月まで				
2014 年 4月から	京都大学大学院	年		農学研究科分子生物細胞学専攻
現在 年 月まで				
日本語能力試験	取得せず ・ N1 ・ N2 ・ N3 （取得年月日 2002年 7月）			
日本語学習履歴	独学 ・ 日本語学校 ・ 中学校 ・ 高校 ・ 大学 ・ その他			
賞 罰				

(注) 留学準備期間・兵役期間なども含めて、高等学校入学から現在に至るまでの学歴・職歴等について時間の切れ目なく時系列に記載してください。

なお、所在地は国名・都市名を記入のこと。（例：中国・大連市、韓国・釜山市）

公益財団法人ロッテ財団

申請書類記入上の注意

全般的事項について

- (1) 原則として日本語（楷書）で、直筆で丁寧に記入すること。
- (2) アルファベット使用の場合は活字体で記入すること。
- (3) 数字は算用数字を用いること。
- (4) 該当する欄はすべて記入すること。
- (5) 記入は万年筆またはボールペンで書くこと。

「2019年度奨学金申請書」について

- (1) 漢字名の名前を持つ場合は、氏名欄に漢字を記入し、フリガナをつけること。
- (2) 在学大学名等欄は、大学名を記入し、学部の場合は学部名・学科名・年次を記入する。
- (3) 入学時期は該当するものに○印をつけること。
- (4) 大学院の場合は、研究科名・専攻名を記入し、該当する課程に○印をつけること。
- (5) 年次は記入時点ではなく、**2019年4月現在**によって記入する。

「履歴書」について

- (1) 高等学校から時系列に現在の大学（大学院）在籍まで、学歴、職歴、その他を通して空白の期間がないように記入すること。
- (2) 在籍した学校名については、卒業か中退どちらかを記入すること。
- (3) 職歴については国名・都市名を記入のこと。
- (4) 日本語能力試験について、現時点で合格しているものに丸をすること。取得年月も記入のこと。
- (5) 日本語学習履歴については、該当するものに丸をすること。複数可。

「本人申告書」について

- (1) 本国（実家）の住所欄は、漢字表記がある場合には漢字も併せて記入すること。
- (2) 家族氏名欄には、父母のほか、配偶者・子供・兄弟姉妹について記入すること。
- (3) 職業・勤務先欄は、具体的に記入する。小売店の経営などの場合は店名および店種を記入。
（例1：勤務先「天津不動産」職種「不動産斡旋業；従業員2人」
例2：勤務先「フエ穀物雑貨店」職種「コンビニ：家族経営」
父母死亡の場合は「死亡」と記入し、生前の職業・勤務先を記入すること。
在学中のものは学校名・学年を記入すること。
- (4) 配偶者が留学生又は社会人で、奨学金、給与所得等の収入がある場合には、「経済状況」の「③ その他の収入」「内容」欄に記載すること。
- (5) 単発の奨学金がある場合は総額を⑤に記載し、それを12ヶ月で割った金額を月額として、下の段に記載し、その月額を①から⑤の合計金額に含めること。
- (6) 「日本留学の目的」欄、および「将来希望する進路（又は、留学後の予定）」は、別紙用紙に記入すること（各200字以内）。

申請書類の提出期限

各大学の締切り期間までに、申請書類を揃え、所属大学の留学生事務担当窓口に提出すること。
ご質問等は各大学の担当者に問い合わせ下さい。なお、当申請に関する書類につきましては、当財団で厳重に管理し、選考目的以外に使用したり、申請者の許諾なく第三者に開示したりしないものとします。

—奨学金申請時の心得について—

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2016.02.03

1 申請の前に

- ・募集要項をよく読み、自分が条件に合っているか確認してください。応募条件や支給内容だけでなく、採用後の義務なども確認してください。(認定式や交流会などへの出席は必須、財団により定期的な課題提出などもあります)
- ・他の財団に大学推薦されている場合は、結果が未定でも新たに申請することは出来ません。
(ただし、双方の奨学金が併給可の場合を除きます)
- ・財団によって選考方法が異なります。面接がある場合は交通費、場所、日時などを確認し、必ず出席できるようにしてください。

2 申請書類について

- ・継続申請の場合も、前回のものを流用せず新たに願書を作成してください。
 - ・消えるボールペン(フリクション)は使用せず、必ず黒のボールペンで記入してください。
(消えるボールペンで書かれた書類は財団に提出できません)
 - ・なるべく修正液(テープ)や斜線での訂正はせず、新しく書き直しましょう。
 - ・学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記入してください。
 - ・記入上の注意や指定には必ず目を通し、それに従って記入してください。
 - ・相手方に失礼のないよう、少なくとも記入欄の5～8割(文字数指定がある場合は7～8割)は記入するようにしてください。
 - ・すべて書き終わったら、記入漏れなどがいないか必ず確認して下さい。特に記入することがない欄も、「なし(数字なら0)」等と記入して下さい。
- ※エクセルデータから出力する場合、すべての文字が切れずに枠内に収まっているか確認してください。

3 その他

- ・応募条件や申請書の書き方など、分からないことがあった場合には指導教員または所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。
- ・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出来ない場合があります。その際は必ず所属部局の奨学金担当係に確認してください。
- ・申請に必要な書類に不足はないか、提出の前に必ず確認してください。特に過去の成績証明書の不足が多いので注意して下さい。
- ・大学を通さず直接応募または継続受給を希望し採用された場合は、必ずその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。

－奨学金申請時の心得について－

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2016.02.03

1 申請の前に

- ・募集要項をよく読み、自分が条件に合っているか確認してください。応募条件や支給内容だけでなく、採用後の義務なども確認してください。(認定式や交流会などへの出席は必須、財団により定期的な課題提出などもあります)
- ・他の財団に大学推薦されている場合は、結果が未定でも新たに申請することは出来ません。
(ただし、双方の奨学金が併給可の場合を除きます)
- ・財団によって選考方法が異なります。面接がある場合は交通費、場所、日時などを確認し、必ず出席できるようにしてください。

2 申請書類について

- ・継続申請の場合も、前回のものを流用せず新たに願書を作成してください。
 - ・消えるボールペン(フリクション)は使用せず、必ず黒のボールペンで記入してください。
(消えるボールペンで書かれた書類は財団に提出できません)
 - ・なるべく修正液(テープ)や斜線での訂正はせず、新しく書き直しましょう。
 - ・学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記入してください。
 - ・記入上の注意や指定には必ず目を通し、それに従って記入してください。
 - ・相手方に失礼のないよう、少なくとも記入欄の5～8割(文字数指定がある場合は7～8割)は記入するようにしてください。
 - ・すべて書き終えたら、記入漏れなどがいないか必ず確認して下さい。特に記入することがない欄も、「なし(数字なら0)」等と記入して下さい。
- ※エクセルデータから出力する場合、すべての文字が切れずに枠内に収まっているか確認してください。

3 その他

- ・応募条件や申請書の書き方など、分からないことがあった場合には指導教員または所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。
- ・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出来ない場合があります。その際は必ず所属部局の奨学金担当係に確認してください。
- ・申請に必要な書類に不足はないか、提出の前に必ず確認してください。特に過去の成績証明書の不足が多いので注意して下さい。
- ・大学を通さず直接応募または継続受給を希望し採用された場合は、必ずその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。

* 2018年10月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

私費外国人留学生身上調書

2018年10月現在

1. 身分・名前等

身分	学部 年、学部研究生、 MC 年、DC 年、大学院研究生		学籍番号	
学科名 専攻名		指導 教員名	研究室 TEL	
氏名	(漢字)			既婚・未婚
生年月日	年 月 日生 (年齢 才)		国籍	
東北大学 入学前の 在籍大学	年 月 卒業・修了			
東北大学で の移動 (新しい順 番に)	年 月 ~ 現在			
	年 月 ~ 年 月			
	年 月 ~ 年 月			
住居 (○で囲む)	<input type="checkbox"/> 東北大学国際交流会館 <input type="checkbox"/> 三条ユニバーシティハウス <input type="checkbox"/> 仙台第一国際交流会館 <input type="checkbox"/> 仙台第二国際交流会館 <input type="checkbox"/> 県・市営アパート(住所) <input type="checkbox"/> 民間アパート(住所)			

2. 家庭状況 (現在同居する者だけを記入してください。)

配偶者が学生の場合、在籍学校名・所属学部研究科・学年を記入する)

氏名	続柄	年齢	勤務先または学校名

* 2018年10月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

家計状況申告書

在籍	学部 年 MC 年、DC 年、大学院研究生	学籍番号	
氏名			

家計状況

* 2017年10月から2018年9月までのあなたの家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

* 2018年4月入学の方は、2018年4月から2018年9月の家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

* 収入と支出の合計が同じになるように記入してください。

収 入		支 出	
自国の家族等からの送金	円	食費	円
奨学金(本人)	円	家賃	円
奨学金(同居家族)	円	光熱水料費	円
アルバイト(本人)	円	交通・通信費	円
アルバイト(同居家族)	円	その他	
貯金から	円 ()		円
その他	()		円
()	円 ()		円
()	円 ()		円
合 計	円	合 計	円

奨学金受給状況

* これまでに奨学金をもらったことがありますか? 有り・無し (○で囲む)

* 有る場合は、以下に記入してください。

もらっていた期間		月額・年額(○で囲む)		奨学金の名称
年 月	～ 年 月	月額・年額	円	
年 月	～ 年 月	月額・年額	円	
年 月	～ 年 月	月額・年額	円	
年 月	～ 年 月	月額・年額	円	

授業料免除の状況(研究生の期間を除く)

* 該当箇所を○で囲む

平成30年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
平成29年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
平成28年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった

指導教員による成績評価(私費外国人留学生各種奨学金申請用)

この評価は、指導されている私費外国人留学生が各種奨学金へ応募する際に記入していただくものです。(2018年10月以降に、他の奨学金で既に提出済みの場合は不要です。)

- 1) 研究室内の他の学生を基準にして、相対的に評価をお願いします。
- 2) 評価はA・B・Cのいずれか、または、評価不能(指導して日が浅い場合など)を該当欄に○印をお願いします。

留学生氏名: _____

所 属: _____ 学科・系 _____ 年次・研究生
_____ 専攻・前期 _____ 年次・研究生
_____ 後期 _____ 年次・研究生

評価	成績評価内容
	A(非常に優秀)
	B(優秀)
	C(良好)
	評価不能

* 評価不能の場合、その理由を記入ください

理由:

平成 年 月 日

記入者(指導教官、クラス担任等)

所属 _____
官職 _____
氏名 _____ 印